

学びの広場 2017

町教育委員会表彰

2人の方が表彰されました

【問い合わせ】教育課 学校教育係 ☎(83)7023

町の教育や文化と学術に多大な貢献をされた方をたたえ、町教育委員会は「平成29年度教育委員表彰」を開催し、北原眞由美さん、吉田光子さん

のお2人を表彰しました。お2人は、長年にわたり学校評議員として学校教育の充実に寄与されました。長い間のご尽力に感謝いたします。



学校評議員 北原眞由美さん

委嘱期間 平成20年4月1日～平成29年3月31日 (寄小学校・9年)



学校評議員 吉田光子さん

委嘱期間 平成21年4月1日～平成29年3月31日 (松田小学校・8年)

人権作文 金賞受賞作品を朗読で発表



金賞を受賞した
松田中学校3年
渡辺菜瑠真さん

「第37回全国中学生人権作文コンテスト神奈川県大会」で金賞を受賞した渡辺菜瑠真さんが、12月9日(土)に開催した「人権教育研修会兼町民大学」において、受賞作品「変身おじいちゃん」

を朗読しました。作品からは、おじいちゃんの体調を気遣う優しい気持ちやおじいちゃんを思いやりながら生活する日々の姿が感じられました。素晴らしい作文に会場の参加者から大きな拍手が送られました。

祝・奨励賞

おめでとうございます!

寄中学校3年 佐藤寛大さん
松田中学校3年 額田メリーエンジェルさん

「第37回全国中学生人権作文コンテスト神奈川県大会」では、次のお2人も奨励賞を受賞されました。おめでとうございます。

1/26は文化財防火デー

みんなで守ろう 文化財 1月は文化財保護月間



昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺金堂(奈良県)の壁画が火災により焼損し、社会に大きな衝撃を与えました。これが契機となり、昭和25年に文化財保護法が、昭和30年には文化財保護デーが定められました。国内の歴史ある多数の彫刻、工芸、史跡、無形文化、天然記念物、他が文化財として指定され、それぞれ国や県市町村が、災害などから文化財を保護し現在に継承されています。乾燥する冬は、火災の発生が懸念されます。火の元には十分注意し、町内にある、大切な文化財(仏像、神社、御堂、石仏など全18点)を皆さんの手で、災害から守っていきましょう。(写真は町内にある指定文化財の一例)

多様な性について理解



「LGBT 性的少数派の人権」をテーマに12月9日(土)に町民文化センターで開催された「人権教育研修会兼町民大学」には、94人の方が参加しました。性的少数者が抱える悩みや課題の実情に、多くの方が熱心に耳を傾けていました。

スコット先生&テイス先生のミニ英会話 時間表現編



When does OO start?
OOは何時に始まりますか?

It starts at 8:00 / 5:30...
...8時 / 5時半に始まります。
... in the morning (午前)
... in the afternoon (午後)
... in the evening (夕方)
... at night (夜)



松田文化財探訪

矢倉沢往還23

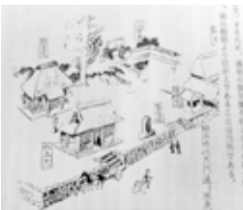
文化財保護委員 草門 隆

「上茶屋について」(その3) (前号より)

聴き取り調査結果の、「往古は裏の松田山に、本村に繋がる道があった」について、川内山(河内山)の「ゴルフ練習場」周辺などを中心に、現地を探索しました。

ところが、雑木・竹林などで荒れ果て、それらしい道の形跡はなくなっているものの、昨今の獣の存在を意識し、恐怖感から撤退しました。

その代替えとして、「帝国市町村地図(昭和5年)で机上検



前寺延命の頃の頃(『松田の史話』第1集より)

討した結果、字名で言いますと上茶屋の北側に上茶屋上があり、そこから松田本村側に繋がる2000番地台は、水飲、横畑、延命寺西、張間田上などから、谷戸の1941、2009番地となり、ナント「松田物領・庶子の境道コース」の矢倉沢踏切近くの、1941番地付近に繋がっていました。

これは、上茶屋から松田山に登り、川内山を下り米山薬師堂(2335番地・今は廃寺)、延命寺・仁王門の前(写

真)、松田町役場付近、旧家居住地域、熊野社(現在はお稲荷さん)付近の道筋を、近所の古老に、一部ご教示賜り推定することができました(感謝)。

この道は「松田物領・庶子境道コース」の前身の道と思えますので、大山大道やふじ道であったかもしれません。

現在では、全く想像できませんが、この道筋を「主要な生活の道場」としていた頃の俗言として「嫁に行くなら...松田は山の中」があったのではないのでしょうか。

その後、籠場橋から松田方面への地方道72号線は、神山の中央を走る県道710号線と共に、道幅は当然現在の半分以下かもしれません。明治6年の神山村大絵図などから推測すると、明治10年前後に開通されたのではないかと推測します。

正式な開通時期については、種々の文献や公的機関も含め調査しましたが、残念ながら不明です。

この道筋の発展は、明治15年作成の「迅速即図」に描かれた、「河内・沢尻コース」の形成に繋がっています。

次回「上茶屋・下茶屋のま」として、懸案事項の川音川の水路変更時期などについて記します。